



本資料は、サノフィ(フランス、パリ)が12月3日(現地時間)に発表したプレスリリースを日本語に翻訳・編集し、12月7日に配信するものです。本資料の正式言語はフランス語・英語であり、その内容および解釈については両言語が優先します。日本語で承認されている主な製品名および一般名についてはカタカナ表記をしています。

米国血液学会(ASH)において、サノフィの4つの化合物が 178本の抄録で取り上げられる予定

- 学術発表で取り上げられるのは、サノフィのJAK2阻害剤、
Clolar[®]/Evoltra[®]、Elitek[®]、Mozobil[®]、およびThymoglobuline[®] -

フランス、パリー2012年12月3日ーサノフィ(EURONEXT:SAN および NYSE:SNY)は、2012年12月8日～11日にジョージア州アトランタで開催される2012年米国血液学会(ASH)年次会議において、上市済および開発の後期段階にある選択的JAK2阻害剤を含む研究中の血液疾患製品の新たな研究が178本の抄録で取り上げられる予定であることを本日発表しました。

サノフィのシニア・バイスプレジデントでオンコロジー領域部門のヘッドを務めるデバシシュ・ロイチャウドゥリー(M.D.)は、「私たちは、依然として満たされていない医療ニーズが残されている治療が困難な血液がんの患者さんのために、治療ソリューションを開発するべく取り組んでいます。今年のASHでは、骨髄線維症における治療格差を埋めるために当社が研究中の選択的JAK2阻害剤を血液学関係者に公開します。私たちは2013年度の第III相試験の結果を心待ちにしています」と述べています。

学会で発表される抄録では、サノフィオンコロジーの上市済製品であるClolar[®]/Evoltra[®]、Elitek[®]、Mozobil[®]、およびThymoglobuline[®]に加え、研究中の新規選択的JAK2阻害剤(SAR302503)の4つの化合物に関する最新の研究が取り上げられる予定です。現在、サノフィオンコロジーのJAK2阻害剤は、原発性骨髄線維症(MF)、真性多血症(PV)、本態性血小板血症(ET)という3つの主な骨髄増殖性新生物の治療に関して臨床開発段階にあります。

ASHで発表される主な抄録は、以下のとおりです。

- 中等度2または高リスクの原発性骨髄線維症(MF)、真性多血症後の骨髄線維症、または本態性血小板血症後の骨髄線維症の患者において、選択的JAK2阻害剤であるSAR302503を評価する第II相ランダム化用量設定試験
 - 発表者: モーシュ・タルパズ(M.D.)、米国ミシガン大学
 - ポスター番号 2837、12月9日(日)午後6時～8時、B1-B2ホール、B棟
- 米国における真性多血症および本態性血小板血症の影響と疾病負担に関する分析
 - 発表者: ジョーツナ・メータ、サノフィ、米国ケンブリッジ
 - ポスター番号 2071、12月8日(土)午後5時30分～7時30分、B1-B2ホール、B棟
- EUにおける骨髄線維症、真性多血症、および本態性血小板血症の疫学
 - オディール・ムラール、サノフィ、フランス・チリーマザリン
 - ポスター番号 1744、12月8日(土)午後5時30分～7時30分、B1-B2ホール、B棟

サノフィ株式会社

〒163-1488 東京都新宿区西新宿 3-20-2 東京オペラシティタワー
www.sanofi.co.jp



- 米国における骨髄増殖性疾患の疫学: 実証的な解析
 - 発表者: ルベン・メサ (M.D.)、米国メイヨー・クリニックアリゾナ
 - ポスター番号 2834、12月9日(日)午後6時~8時、B1-B2ホール、B棟
- 米国における骨髄線維症の影響と疾病負担に関する分析
 - 発表者: ホンウェイ・ワン、サノフィ、米国ブリッジウォーター
 - 口演番号 972、12月11日(火)、C211-C213、C棟

以上

サノフィのJAK2阻害剤について

JAK2は、血液細胞が成長するための鍵となる酵素です。JAK2の突然変異は、JAK2シグナルの調節不全につながり、骨髄線維症を引き起こすと考えられています。野生型JAK2を持つ患者では、JAK2シグナル伝達経路が持続的に調節不全に陥っていることが確認されていますが、これは、この病気を発現させる別のタンパク質が突然変異を起こしたためだと考えられます。早期の臨床試験では、サノフィのJAK2阻害剤が野生型JAK2の骨髄線維症患者にも、変異型(JAK2V617F)JAK2の骨髄線維症患者にも活性を示すことが明らかになっています。

Clolar®/Evoltra®について

Clolar®/Evoltra®は、2種類以上の前治療歴がある再発または抵抗性急性リンパ性白血病(ALL)の小児患者の治療薬として、世界49カ国で承認されています。生存期間の延長またはその他の臨床ベネフィットを明らかにするランダム化試験は、これまで実施されていません。Clolar®/Evoltra®は、急性リンパ性白血病の小児患者用として十数年振りに承認された化学療法薬です。

Mozobil®について

Mozobil®は、世界42カ国で承認されており、血中の造血幹細胞の数を急速かつ効果的に増やし、非ホジキンリンパ腫や多発性骨髄腫の患者が自家造血幹細胞移植を受けられるようにします。Mozobil®は、別の医薬品(G-CSF)と併用され、通常は幹細胞を骨髄にとどめている結合を阻害し、骨髄から血液中に造血幹細胞を放出させます。

Thymoglobuline®について

Thymoglobuline®は、過去25年間にさまざまな適応で米国以外の60カ国で登録され、固形臓器移植および同種幹細胞移植を受ける患者の免疫抑制療法に欠かせない医薬品であり、また幹細胞移植を受けられない再生不良性貧血の患者の標準療法となっています。現在も、ウマATGが利用できない国では、肯定的なベネフィット/リスクプロファイルに基づき、Thymoglobuline®が再生不良性貧血の治療における免疫抑制療法の一次療法薬となっています。

サノフィのオンコロジー領域部門について

米国マサチューセッツ州ケンブリッジとフランス・ヴィトリーを拠点とするサノフィのオンコロジー領域部門は、がん患者さんと臓器移植患者さんの満たされない医療ニーズに応えるべく、科学的研究を効果的な治療薬につなげる活動に熱心に取り組んでいます。疾病と患者さんに関する深い理解をはじめとして、創薬と臨床開発に革新的なアプローチを実施し、適切な患者さんに適切な医薬品を提供することを究極の目標に据えています。当社は、社内の科学的専門知識を業界や学術専門家の科学的専門知識と組み合わせるパートナーシップが重要であると考えます。当社の使命は、新しい科学と革新的な治療法によって、当社のポートフォリオである11の市販製品と、小分子や生物学的製剤を含む15以上の臨床開発段階にある化合物によって、患者さんがより健康に長生きできるように支援することです。



サノフィについて

サノフィは、グローバルに多角的事業を展開するヘルスケアリーダーとして、患者さんのニーズにフォーカスした医療ソリューションの創出・研究開発・販売を行っています。サノフィは、ヘルスケア分野において 7 つの成長基盤を中核としています。それは糖尿病治療、ヒト用ワクチン、革新的新薬、コンシューマー・ヘルスケア、新興市場、動物用医薬品、および新生ジェンザイムです。サノフィはパリ (EURONEXT: SAN) およびニューヨーク (NYSE: SNY) に上場しています。

今後の見通しに関する記述

当プレスリリースには、1995 年民間有価証券訴訟改正法 (修正を含む) でいう「今後の見通しに関する記述」が含まれています。今後の見通しに関する記述とは、歴史的事実を述べるものではない記述です。これらの記述には、計画と予測ならびにそれらの根拠となる前提、将来の財務結果、事象、事業、サービス、製品の開発および可能性に関する計画、目標、意向および期待に関する記述、ならびに、将来の実績に関する記述が含まれます。一般的に、今後の見通しに関する記述は、「予想」、「期待」、「見込み」、「予定」、「予測」、「計画」などの表現によって識別されます。サノフィの経営陣はそのような今後の見通しに関する記述に反映された予想を妥当と考えますが、投資家は今後の見通しに関する情報と記述がさまざまなリスクと不確実性の影響を受けやすく、それらの多くが予測困難であり、通常サノフィが制御できず、そのために実際の結果と進展が、今後の見通しに関する情報と記述の中で表現された、暗示された、または予測されたものとは大幅に異なる可能性があることに注意してください。そのようなリスクと不確実性には、研究開発、市販後を含む今後の臨床データおよび解析、薬剤・機器・生物学的製剤などの製品候補について提出される申請の承認の是非および時期に関する FDA や EMA などの規制当局の決定、ならびにそのような製品候補の利用可能性や商業的可能性に影響を及ぼすラベリングその他の問題に関する当局の決定に付随する不確実性、製品候補が承認された場合に商業的に成功するという保証の欠如、代替治療薬の将来的な承認および商業的成功とグループが外部成長の機会から利益を得る可能性に付随する不確実性、ならびにサノフィの 2011 年 12 月 31 日終了事業年度フォーム 20-F 年次報告書の「リスク要因」および「今後の見通しに関する記述」項目を含む、サノフィが作成した SEC および AMF に対する公の届け出の中で議論されているかまたは特定されているものが含まれます。サノフィは、適用法によって義務付けられている場合を除き、今後の見通しに関する情報または記述の更新または見直しを行う義務を負うものではありません。